

唐津市 ★★★★★★

議会だより

第42号(平成26年8月1日)



初夏の鷹島肥前大橋

目次

- ・平成26年度6月補正予算 P 2
- ・議案質疑 P 3～P 4
- ・審査報告 P 5～P 6
- ・一般質問 P 7～P 13
- ・意見書(要旨) P 14
- ・情報発信の取組について P 15
- ・委員会現地調査・編集後記 P 16

毎年7月末から9月始めに行われる幕洗い行事(船遊び)

◎ 発行：唐津市議会

◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会

平成26年度 唐津市一般会計 6月補正予算 14億5,662万7千円(累計613億5,400万1千円) を可決しました!



その補正の概要は次のとおりです。



【総務費】 3億7,563万6千円

- ・減債基金積立金 3億4,577万6千円
- ・次世代自動車充電インフラ整備促進事業費 2,285万2千円
- ・グアム物流・交流推進事業費 340万8千円
- ・コミュニティ事業助成金 360万円



【民生費】 2億7,668万5千円

- ・介護サービス事業特別会計繰出金 547万6千円
- ・老人福祉施設スプリンクラー整備費補助金 364万5千円
- ・高齢者福祉施設改修事業費 7,676万7千円
- ・保育所等整備事業補助金 1億9,079万7千円



【商工費】 838万5千円

- ・商工業イベント助成事業費 250万円
- ・観光関係団体補助金 588万5千円

【農林水産業費】 1億2,271万1千円

- ・さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業補助金 108万3千円
- ・施設園芸用燃油高騰緊急対策事業補助金 5,079万8千円
- ・農業基盤整備促進事業費 6,928万8千円
- ・木材活用施設整備事業費 558万円
- ・漁港機能保全計画策定費 306万6千円
- ・駄竹漁港改修事業費 900万円

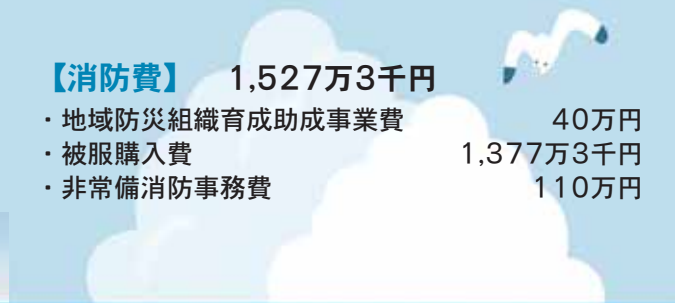


【土木費】 277万3千円

- ・国道等戦略事業費 277万3千円

【消防費】 1,527万3千円

- ・地域防災組織育成助成事業費 40万円
- ・被服購入費 1,377万3千円
- ・非常備消防事務費 110万円

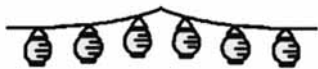


【教育費】 477万2千円

- ・伊能図全国巡回フロア展開催費 477万2千円

【災害復旧費】 1億3,400万円

- ・平成26年災害土木施設復旧費 1億3,400万円

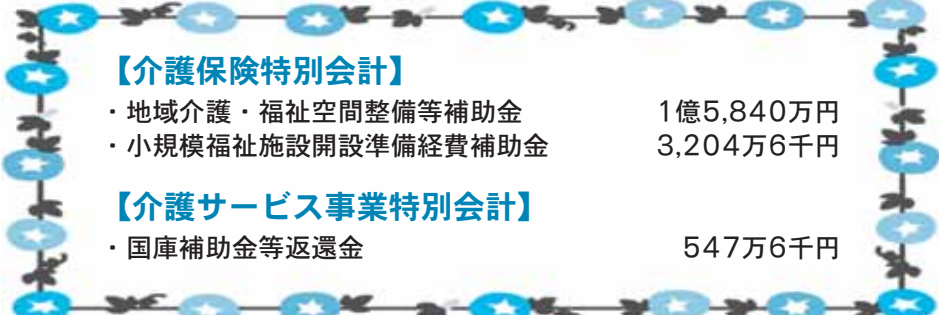


【介護保険特別会計】

- ・地域介護・福祉空間整備等補助金 1億5,840万円
- ・小規模福祉施設開設準備経費補助金 3,204万6千円

【介護サービス事業特別会計】

- ・国庫補助金等返還金 547万6千円





議案質疑

提出された24件の議案に対して各会派から12名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

議案第68号 平成26年度唐津市一般会計補正予算

1. 商工費「商工業イベント助成事業費」……250万円

質疑 「伝統的工艺品月間国民会議全国大会（佐賀大会）」の事業の目的及び概要は。

答 弁 今回、全国大会が有田町を中心に開催されるため開催に合わせて、唐津焼協同組合などが実行委員会を組織し開催する唐津焼関連イベントに対し補助を行い、唐津へ誘客し、唐津焼のPR、振興を図るもの。

質疑 事業は唐津焼協同組合などが実行委員会を組織することであるが、どのような組織になるのか。

答 弁 唐津焼協同組合員だけでなく、非組合員も含めた唐津焼として取り組むこととし、唐津焼協同組合と唐津やきもん祭り実行委員会により、新たに実行委員会を組織し、事業を実施するもの。

質疑 事業の周知はどのように行うのか。

答 弁 全国大会は、関係市町などにより「佐賀県伝統的工艺品月間推進協議会」を設置し、各種事業を実施する。
唐津焼協同組合などで組織する実行委員会では、電車の中吊広告、ラジオ放送やポスター掲示等によりイベントの周知・PRを計画している。
唐津市としては、市政記者室への情報提供をはじめ、観光課と連携しながら、全国へも周知・PRを行いたい。

2. 商工費「観光関係団体補助金」……588万5千円

質疑 この補助金で観光戦略を策定するにあたり、からつ観光協議会（仮称）を設立する事となるが、この協議会にどのような役割を期待しているのか。

答 弁 からつ観光協議会（仮称）を設立することにより、市民や関係団体の皆様方の「想い」が「観光戦略」として形となり、「観光唐津」の目指すべき方向性が示されるものと期待している。

質疑 この協議会が今後どのように進んでいくのか、今後の観光唐津の戦略機能についてのビジョンをどう考えているのか。

答 弁 今後の観光唐津の戦略機能については、市が基本となる観光のビジョンを描き、この協議会が戦略をつくり、観光協会が実施主体となって各種関係団体と連携した営業活動を行っていくことを思い描いている。
多少の時間はかかるが、観光産業が本市の基幹産業のひとつとして活性化し、市民の皆さんが他の方たちに勧めたくなるよう、また、観光客の皆様が何度も来なくなるような、持続可能な観光のまちづくりへとつながるものと考えている。

3. 土木費「国道等戦略事業費」……277万3千円

質 疑 「みちづくり戦略室」の戦略的な役割と事業費の考え方は。

答 弁 幹線道路網は、物流・観光・緊急時の避難など、地域経済の要として重要な役割の中で、その整備促進を強化する必要がある。今年4月からみちづくり戦略室を設置し、その課題に取り組んでいる。しかし、いまだ多くの課題を抱えている。特に、西九州自動車道の関連用地（唐津IC用地、仮称：鏡山SA）の活用、佐賀唐津道路の唐津相知間の早期事業化、国道202号バイパスの唐津大橋の4車線化など重要な課題と捉え、今回の事業費でこれらの課題解決のために、関係団体に要望するだけでなく目に見える形で戦略を立て、ある程度腹を決めて国・県に交渉していくプランを策定する。

議案第70号 平成26年度唐津市介護サービス事業特別会計補正予算

質 疑 特別養護老人ホーム宝寿荘が売却となった経緯は。

答 弁 唐津市行政改革実施計画に基づき行うもの。平成25年3月に民間移譲を決定し、同年5月に職員、6月に関係業者、施設利用者並びに呼子地区区長連絡協議会に説明会を実施した。7月に事業者の公募を行った結果、3法人の応募があり、同年11月に選定委員会を開き社会福祉法人唐津福祉会に決定した。また、特別養護老人ホームが県内60施設あるが、行政が直営しているのは唐津市の宝寿荘だけとなっている。民間施設になっても、サービスの水準は十分維持出来る。

質 疑 選定の基準は。

答 弁 唐津市特別養護老人ホーム宝寿荘の移譲先候補選定における基準を定め、①施設等の買取価格に関する事項②施設の管理・運営に関する事項③入所者へのサービスに関する事項④居宅サービスに関する事項⑤危機管理・情報管理に関する事項⑥財務・会計に関する事項⑦引継ぎに関する事項の7項目で審査した。

議案第73号 唐津市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

質 疑 この条例の内容は。

答 弁 京都・福知山花火大会での火災事故が制定のきっかけとなっている。神社等の祭礼、縁日、花火大会、展示会など多数の者が集合する屋外の催しに出店する露店主に、消火器の準備、露店等の開設届出、唐津市消防長が指定をした大規模な催しの主催者に、火災予防対策計画書の提出を義務付けるもの。

質 疑 消防長の指定する催しは、唐津くんちと九州花火大会とあるが、その他の催しも指定の考えがあるのか、またその基準はどうなっているのか。

答 弁 指定催しの基準は、一日の人出を10万人以上としている。他に催しが22件ほどあるが、10万人に届かない規模のため指定しない。

質 疑 10万人規模と言うが、小規模な催しでも危険は同じと考えるが。

答 弁 指定催し以外の催しでは、屋台や露店を出店する場合、消火器の設置が義務付けられ、消火器の位置関係などを含めた露店等の開設届出を提出することになる。そして、署員が現地に赴いて、その届け出に関わる消火器の確認、火気器具等の安全上の位置関係などを確認するなど事前の指導を行い、安全を徹底する。

常任委員会審査報告

議長より付託された案件について常任委員会ごとに審査します。



連合審査とは

ある案件に対し、関連する複数の委員会が合同で会議を開くこと。

6月定例会

総務教育委員会

◎次世代自動車充電インフラ整備促進事業費

【質問】再生可能エネルギーに対する補助の考え方は。

【答弁】低炭素社会に向け、先進的な部分をアピールする意味で必要。

【質問】佐賀、福岡方面についての整備計画は。

【答弁】厳木「道の駅」に普通充電器、七山「なの湯」に急速充電器を整備し対応。

【質問】庁用車への電気自動車の導入状況は。

【答弁】社会実験なども研究し、導入率を上げて行きたい。

◎GAM物流・交流推進事業費

【質問】行政の役割は。

【答弁】交流、物流において、行政が関与し、より高い信頼関係の構築を目指す。物流の調査を行い、唐津港から出荷出来る利点を生かし、民間のビジネスチャンスへつなげる。

◎被服購入費

【質問】「消防団の装備の基準」改正の時期、内容は。

【答弁】東日本大震災での団員の殉職などを受け、平成26年2月7日改正。内容は、団員の安全確保の装備及び救助活動用資機材の整備

整備は、団員個人の安全確保の為に救助用半長靴、耐切創性手袋を3年間で全団員に配備。

【質問】団員の新、旧装備の違いにより、補償に影響はあるのか。

【答弁】出勤時から公務災害と認定され、補償には影響ない。

【質問】救助活動用資機材の整備状況は。

【答弁】国の基準では、各分団ごとの整備となっている。団長、支団長会議を踏まえ、財政面を考慮し整備して行く。

◎非常備消防事務費

【質問】PR映像の内容は。

【答弁】唐津に特化した形で、各支団の特徴、地域性を活かしたものとす。公共放送での放映、公民館、学校への配布を予定している。

【質問】被服購入費・非常備消防事業費の財源の一部となっている、佐賀県消防団員確保対策事業補助金の内容は。

【答弁】50万円を基本額としソフト事業を行う。この補助事業を行う場合は、150万円の追加補助が可能。いずれも補助率12で、3年間の継続事業。

◎議案第73号、唐津市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

【質問】主催者側より防火担当者を選任とあるが、資格の必要は。

【答弁】資格についての取り決めはない。指定催しの関係者に対し、火災予防上の業務に関して必要な指示等が出来る立場の方の選任を指導する。

《現地調査》

・コミュニケーション助成事業費（厳木町広瀬）

・次世代自動車充電インフラ整備促進事業費（北波多徳須恵）

・次世代自動車充電インフラ整備促進事業費（北波多徳須恵）

・次世代自動車充電インフラ整備促進事業費（北波多徳須恵）

・次世代自動車充電インフラ整備促進事業費（北波多徳須恵）

・次世代自動車充電インフラ整備促進事業費（北波多徳須恵）

・次世代自動車充電インフラ整備促進事業費（北波多徳須恵）

産業経済委員会

◎商業イベント助成事業費

【質問】唐津焼展での組合員と組合員外の取り扱い。

【答弁】組合員は展示販売をそれ以外の方は呼びかけを行い参加希望があれば展示販売を一緒に行う。なければパネルを使い窯元の紹介をする。

【質問】イベント会場の有田から唐津への輸送方法は。

【答弁】期間中の5日間、毎日バス2台で4往復。

◎観光関係団体補助金

【質問】横断的に組織する協会の団体数は。

【答弁】85団体ぐらいを目標。

【質問】協議会の姿、内容は詰めているのか。

【答弁】詳細までは詰めていないが概要的な部分では（二社）唐津観光協会と協議している。

【質問】9月議会で予算計上してもよかったのでは。

【答弁】スピーディーにやる。3か月遅れると戦略的にも遅くなる。

◎伊能図全国巡回フロア展開催費（総務教育委員会との連合審査）

【質問】小学校の授業中に鑑賞させるとの事だが、他の授業への影響は。

【答弁】移動を含め鑑賞途中の事故等の対応については、教育課程上の事故と同様の取扱いとなる。

【質問】中央実行委員会から、開催主催者へ課せられている事項は。

【答弁】チケット販売等の条件はある。今回はその分を補助金で賄い入場無料とする。また、図書等の販売、協賛などの収入が発生した場合は、活動経費に充当し補助額より減額する。

【質問】予算編成において、小学生の鑑賞費用は、教育委員会の予算と出来なかったのか。

【答弁】その編成も可能だが、主催者側が学校を招待する、鑑賞の機会を提供する意味合いで観光文化スポーツ部の予算とし計上した。

《現地調査》

・厳木特産品等展示販売施設「風のふるさと館」

・横枕地区頭首工改修予定地（相知町横枕）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

・畑島地区用排水路工予定地（畑島）

都市整備委員会

◎国道等戦略事業費
 【質問】国道等戦略事業費の内容は。

【答弁】調査箇所は2カ所あり、まず唐津インター道路予定区域を有効活用するために、コンサルに活用素案の作製を委託し、利用計画検討会を立ち上げ、その素案をもとに協議検討を進めていく。年度内には一定の方向性をまとめ、国に提案し、活用協議を進める。2カ所目の鏡山サービスエリア（仮称）予定地の有効活用については、コンサルに委託した内容をもとに利用計画検討会で意見交換を重ねながら、平成27年度に活用プランを策定し、その後概算費用の算定といった予算要求を行っていく予定。

また、佐賀唐津道路整備促進看板製作35万3千円については、唐津インター道路予定区域の利用計画検討会の中で看板の内容について検討を行い、意見の集約を図り、早期に唐津インター道路予定区域もしくはその周辺に設置し、整備促進の機運を高めたい。

◎公共土木災害復旧費

【質問】平成26年災害土木施設復旧費1億3400万円の内容は。
 【答弁】市道霧差山2号線（北波



唐津IC道路予定区域（中原）

多）は平成25年8月下旬の豪雨で被災し、国の災害査定を受けたが、地すべりの兆候があり、平成25年12月から調査ボーリングによる観測が続けてきた。現在、地すべりが安定・沈静化した状況になったため今回予算化した。崩土した1万7千㎡を撤去して、現道部分に押さえ盛り工法を施工し、地すべりを安定化させる。財源については国から23、残りの13の95%は交付税措置される。
 《現地調査》
 ・市道霧差山2号線（北波多大杉）
 ・唐津IC道路予定区域（中原）
 ・SA予定地（浜玉町東山田）

市民厚生委員会

◎がん検診事業費

【質問】乳がん・子宮頸がんの検診事業の概要と受診率は。

【答弁】クーポン券配布の方に再度、特に未受診者を中心にクーポン券配布により受診勧奨を図る事業。（コール・リ

コール制度）この事業により受診率を乳がんは16%を3%、子宮頸がんは27%を5%向上させていきたい。

◎清掃センター維持管理業務費

【質問】事業の概要と最終処分場の埋立容量と残量は。

【答弁】最終処分場を適正に管理するため地下水・遮水シート

の保全状況を調査するもので全埋立量は13万7千㎡で残余は3,453㎡。

◎離島ごみ処理施設整備事業費

【質問】事業内容と設置場所、運営や性能・耐用年数は。

【答弁】肥前町向島に小型焼却炉を設置するもので、場所は説明会を開催し地元の要望で決定。運営は地元へ委託、45

kg/時の能力で週2回焼却、10年の耐用年数。

◎国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

【質問】改正の説明と増収、今後の見直しは。

【答弁】限度額を後期高齢者2万円増で16万円、介護保険2万円増で14万円。約2千万円の増収。5割・2割軽減の基準額の見直しで対象者が増加。国民健康保険会計は累積赤字が12億円で繰上充用している。収納率は23%増加の92.75%に好転している。平成25年度2.6億円の基準外の繰入で赤字補てんした。

《現地視察》

・離島ごみ処理施設整備事業費（肥前町向島）



小型焼却炉（イメージ）

議会を傍聴してみませんか

6月定例会の傍聴者は、本会議 延べ11名でした。次回の市議会定例会は9月に開かれる予定です。車椅子専用の傍聴席（2席）も整備されています。

一

般

質

問

6月定例会の一般質問は、6月11日～17日の4日間で行われ、20名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。

質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。



平野 潤二 (清風会)

少子化対策・定住政策について

質問 若者が働く場所の企業誘致の現状は。

部長 実績は無い。

質問 企業誘致の現状と課題は。

部長 厳木工業団地の実績は無い。コスメティック構想で期待している。

質問 就学前の児童数と保育料徴収の現状は。

部長 児童数は6825人、保育料は国の基準より下げて徴収している。

質問 3人目の保育料無料化は、1人が小学校に入ると無料化の効果が出ない。小学校6年まで引き上げると、効果が出て少子化の効果が出ると思うが。

部長 市としての財源の問題で難しい。国の方で3人目の無料化を検討されているので待ちたい。

市庁舎建設について
質問 市役所建設についての状況は。

部長 耐用年数の問題があり、財源のめどが立ち、



岸岳ふるさと館(北波多)

建設に向けて平成32年度完成で進めたい。
質問 平成32年末までに市役所を建設すると市民に宣言したと理解しているか。

部長 合併特例債の期限内の建設を目指したい。

農産物直売所について
質問 特産品直売所の現状は。

部長 類似施設が多く出て売り上げが減少している。施設により、黒字赤字がある。

質問 今後の指定管理は公募か非公募か。

部長 これまでの経営実績、管理運営の状況を見て判断したい。

質問 七山の鳴神の庄は老朽化しており、建て替えの要望書が出ているが。

部長 建て替えの方法について地元関係者と協議したい。



榎崎三千夫 (清風会)

浜玉地区河川改修について

質問 浜玉地区河川改修が行われているが、河川内にはどういう公共施設農業施設があるのか。

部長 橋梁3カ所、旧寄宿舎、活性化施設等と水管橋、サイホン等がある。

質問 これらの施設の改修はどうするのか。

部長 2農業施設は付け替えが必要で、橋梁は拡張し旧寄宿舎と活性化施設は県と補償契約が必要と考える。

質問 施設整備の方法と受益者負担の考え方は。

部長 橋梁、寄宿舎、活性化施設は市が解体改修、農業用河川工作物は河道整備と一体的な構造で地元負担は考えていない。

質問 地元負担がない農業施設とはどんな物か。

部長 頭首工、農道橋、水管橋、水門、サイホン等がある。

質問 水管橋とサイホンに關係する受益者と受益面積はどれくらいか。



横田川(浜玉町)改修

部長 受益者は約40名で受益面積は約189haである。
質問 水管橋に付随する管路の考え方は。

部長 管路については地元負担が必要と考える。事業費が大きいので軽減について検討が必要。

質問 今後の改修計画について伺いたい。

部長 寄宿舎と活性化施設は、平成26年に建物補償調査し平成27年以降補償契約後に解体し、サイホンは用地取得済みながら県と協議していく。水管橋は、国道323号の歩道整備が平成27年に計画されており、実施計画と国道部の工事が必要になる。

質問 地元への説明は。

部長 工事の年度計画を策定し、地元負担については、丁寧な説明が必要と考える。



大西 康之
(志政会)

公衆無線LAN環境構築
について

質問 公衆無線LAN
(Wi-Fi)の必要性は。

部長 防災面からは、大規模災害時に情報収集の為に必要。観光面からは、海外は基より国内観光客の満足度向上の為に必要。

質問 建物が無くてもWi-Fi環境を構築できる、飲料の自動販売機を利用した「防犯、防災ステーション」というシステムがあるが、市としては。

部長 今年度中に市の施設、公園などでモデル的に数か所設置したい。

質問 消防設備について

質問 改築後の唐津市立第一中学校に、公設消火栓が設けられていないが。
部長 改築前は校舎の東西に1カ所ずつ設けられていた。撤去について消防本部と協議し、法的に問題ないとの回答を得、撤去した。

質問 過去の経緯、立地条件などを勘案して消火栓は必要では。



クラウド型防犯防災ステーションの例

市長 消防団員、消防署員の安全確保が第一。安全でスピーディーに対応する為に、消火栓の新設も含め再検討を行う。
街なか骨格軸の整備状況について

質問 街なか骨格軸の力ギとなる呉服町の状況は。

部長 国の補助金を活用し、アーケード撤去へ進まれている。撤去後の、ファサード整備については、県の補助金を活用し支援。当然市としても、県と同様に支援していく。

質問 ファサード整備を進めるにあたり問題点は。

部長 街全体のコンセプトについて、合意形成を図ってもらいたい。

質問 平成27年度当初予算での事業対応は。

部長 早期にコンセプト、デザインが決まれば、当初予算に反映させたい。



伊藤 泰彦
(清風会)

唐津市立幼稚園の民営化
について

質問 唐津幼稚園及び木幼稚園の園児数の推移について。

教育長 唐津幼稚園は平成21年度64名で平成25年度は47名と5年間で17名減少している。木幼稚園も42名から34名と8名減少している。

質問 唐津幼稚園・木幼稚園の定員数は。

教育長 唐津幼稚園の定員数は三歳児から五歳児迄の合計150名で、木幼稚園は80名である。

質問 平成25年度唐津幼稚園は定員150名に対して入園者数47名・木幼稚園は定員80名に対し34名で共に減少している。民間幼稚園の保育料は2万円〜2万6千円程度だが、市営幼稚園の保育料はいくらか。

教育長 唐津幼稚園は月額1万円・木幼稚園が月額5400円である。

質問 民間の幼稚園と比較すると市営の幼稚園は

保育料は安いが極端な定員割れとなっているが、収支状況はどうなっているか。



唐津幼稚園

平成24年の収支状況は唐津幼稚園が保育料収入約630万円に対し、支出は給与費約330万円と運営費約740万円である。木幼稚園は保育料収入、約250万円に対し、支出は給与費約2250万円・運営費約630万円です。

質問 唐津・木幼稚園に毎年6000万円以上の一般財源を支出している状況であるが、市立幼稚園の今後の方向性はどのように考えているか。

市長 継続・民営化・廃止など、他市の事例を参考に今後市民の関係者の意見を聞きながら方向性を検討する。

質問 唐津市教育行政の方向性と問題・課題の解決について

質問 来年度施行予定の教育委員会制度改革の概要と影響は。

教育長 教育委員長と教育長を一本化して新教育長の任期は3年で教育委員は4年。首長が「大綱」を策定し、首長と教育委員会会で構成する総合教育会議を設置して協議。市教委の条例や教育基本方針の改正も多数生じる。

質問 緊急の場合の対応や最終的な責任は。

教育長 緊急の場合は総合教育会議で協議調整する。危機管理体制が明確になる。最終的な責任は職務権限を有するもの。

質問 全国学力テストの唐津市の学校別公表と学力向上対策は。

教育長 学校別公表はしない。学校の序列化が形成され数字だけ評価されるため。小学校は改善して県平均、中学校は国・県より低い。県学習状況



白水 敬一
(公明党)

調査を4月と12月の2回実施し、新アクションプランを策定し、継続的に授業改善に向けて取り組む。

質問 特別支援学級と児童生徒数は。その推移と対策は。

教育長 39校75学級168名で共に年々増加している。専門的資格の取得教員の養成や専門知識や指導技能の向上を目指していく。外町小を県研究校に指定し、学校全体で取り組んでいく。

質問 学校耐震化と天井や照明・棚・くつ箱等の非構造部材の耐震化は。

教育長 学校は91%の耐震化率。屋内運動場の吊り天井は2校は撤去済。残り4棟も平成27年度までに撤去する。他の部材は日常点検により随時補修していく。

質問 学校別公表はしない。学校の序列化が形成され数字だけ評価されるため。小学校は改善して県平均、中学校は国・県より低い。県学習状況





富田 幸樹
(志政会)

海岸の活用と保全について

質問 からつ市民の宝である海岸、海浜をどのように活かしていくのか。

部長 海浜、砂浜の美しさを保全しながらも、唐津に来訪される方々に楽しんで頂けるよう、関係団体と連携を図り交流人口の拡大や市の活性化につなげ、大切に育てたい。

質問 水上バイクの騒音に対して規制の考えは。

部長 水上バイクの乗入は近年特に問題となっている。看板での警告等を継続しながら、関係機関と連携し対策に努めたい。

質問 浜崎海岸だけ規制があるが海岸全体を対象に水上バイクの利用を区分した条例の考えは。



競艇事業剰余金の使途について

質問 レース事業の利益剰余金の見込みと、一般会計へ繰り出し見込額は。

部長 平成25年度の利益剰余金は6億6千万円で繰出しを3億程度予定。

質問 事業収益は、景気の動向に大きく左右される。単に、一般会計の財源として繰り入れるのではなく、事業収益の有効な活用を目的とし、市民にPRを図る観点からも収益を財源とした基金の創設を検討する考えは。

部長 レース事業収益金の明確化とPRの必要性については十分認識している。レース事業収入の流れが市民にわかるよう明確にし、使途のPRについても議員提言の趣旨を十分踏まえ、レース事業部とも協議しながら方針を検討したい。



井上 祐輔
(日本共産党 唐津市議団)

子育て環境について

質問 平成27年度から実施予定の子ども子育て新制度導入の進捗状況は。

部長 来年3月に子ども子育て支援事業計画を作る準備をしている。

質問 子育て支援アンケートの意見反映が大切と思うが見解は。

部長 アンケートをベールに取り組みたい。

質問 子ども・子育て会議の会議録の公開、パブリックコメントの実施は。

部長 会議録は次回の会議で検討する。パブリックコメントは来年1月に実施を予定している。

質問 保育士等の処遇改善について前年度実績は。

部長 保育士は平均月額7424円。保育士以外は平均月額6691円の改善となっている。

質問 学童保育拡充の課題は。



若者の定住について

質問 定住促進の位置づけは。

部長 総合計画の基本計画の根幹として位置づけている。

質問 若者が暮らしやすくする対策は。

部長 全産業が調和して発展し、若者が住み、活き活きと働ける街づくりを掲げて進めている。

質問 定住は、安定した雇用と所得が必要と考えられる。民間の手法となる為にも市役所も非正規職員の正規化が必要では。

部長 職員採用については行財政計画に基づき行いたい。

質問 今後の唐津市を担う若者がどんなものを求めているのかアンケートの考えは。

部長 若者を対象とした意識調査が必要な場合は検討する。



志 佐 治 徳
(日本共産党 唐津市議団)

九州電力天山発電所展示館について

質問 展示館は揚水発電の仕組みなどを伝えるものであるが、設置目的とその役割は何か。

部長 揚水発電は昼間上ダムから水を落として発電し、夜間は余剰電力で下のダムから水を上ダムに上げている。展示館は昭和62年に開館し、揚水発電の仕組みを分かりやすく展示してある。来館者は累計75万人を超えている。

質問 天川地区の人が揚水発電という発電方法に感動を覚え、その仕組みを多くの人に知ってもらいたいということ展示館はできた。同じような施設は九州地区で天川の他にどのくらいあるのか。

部長 九州に4か所あったが、他は既に閉館されて天川だけになった。

質問 原発から再生可能エネルギーの時代になっている。そうした施設として後世に残すべきではないか。

部長 施設は九電のもので、九電の決定に従わざるを得ない。

質問 30年前、天川地区の人達は時代の要請に応じて、集落の中心一等地に広さ4反の土地を展示館用地として提供された。この土地は今後未来永劫にわたって地域の人たちが自由に使えるように唐津市としても援助すべきだと考えるが。

市長 九電と地元との話し合いがもたれていきますので、その推移をみる必要が。何か見えてくれば、その段階で何かできるのではないかと考えている。

◎**その他の質問**

◎県立厳木高等学校について

◎原子力発電について



九州電力天川発電所展示館



井上常憲
(清風会)

市斎場・火葬場の統合について

質問 平成30年に肥前と呼子の斎場火葬場を廃止し、その後相知浜玉も統合すると発表されたが、検討された現存施設の改修費の見込みは。

部長 火葬炉1台当たり2000万円程度かかる。統合すれば年間5000万円の削減ができる。

質問 地域のコミュニティの維持にも無くてはならない。離島や周辺部の人々には時間と経費の負担となるが。

部長 葬儀の日のほば一日は許容される範囲ではないかと考える。

質問 肥前と呼子には電源施設維持基金が使えるがなぜ改修しないのか。

部長 施設の維持管理の削減にはならない。

国民宿舎の今後の在り方について

質問 各国民宿舎の市の収支状況は。

部長 平成25年度は虹の松原が427万円の赤字、

いるは島が963万円、波戸岬が1086万円、呼子ロッジが198万円の黒字となっている。

質問 いろは島築42年、呼子ロッジは築45年と古い。民間で解体新築して安価な宿泊料の提供は無理だと思ふ。また、2次

3次売却の不安も出てくる。どうして市で有利な起債を使って改築し、それを指定管理できないのか。

部長 民間の活力とノウハウに期待している。

質問 いろは島の周囲は県の保養施設があり市への管理委託も進んでいるが県の施設や温泉の源泉の売却も考えているのか。

部長 募集の際には源泉にも十分に配慮する。県有地の売却は考えていない。



呼子町霊葬場(火葬場)



浦田関夫
(日本共産党 唐津市議員)

市長の「原発再稼働とリンクしない」という発言について

質問 市長は、3月の定例記者会見で「原発の再稼働と避難計画はリンクしない」と述べているが。

市長 原発の再稼働の議論と別に原発が立地する以上、防災計画を継続的に整備する必要がある。

質問 福井地裁は、「経済活動より人格権が優先される」と大飯原発の差し止めの判断を示した。

市長 一方だけの「人格権」だけで判断され、裁判所が大変厳しい考えを持っていてという印象をもった。

質問 九電は、原発からの放射能漏れ事故の場合、情報を関係団体に伝えるだけである。住民避難のサポートなどを求めるべきだ。

部長 必要なものがないか九電に申し入れている。年金で入所できる介護保険制度について

質問 各種施設ごとの平均

均入所料金(多床室)は。

部長 特養ホームで7万6320円。介護老健施設は、7万7710円。グループホームは、多床室はなく、13万7490円となっている。特養ホームを運営する社会福祉法人では2万5740円までの軽減措置がある。

質問 各施設の待機者数は。

部長 特養ホームは799人。介護老健施設38人。グループホーム59人になっている。

質問 入所料が最も安い特養ホームに待機者が集中しているので新設計画を来年の介護計画に入れるべきだ。

部長 第6期計画に増床する方向で県と協議した。

い。



特養ホーム「宝寿荘」



井本敏男
(志政会)

唐津市農業振興について

質問 唐津市の認定農業者の現状及び課題について説明を求めます。

部長 平成20年度で1213経営体をピークに減少傾向にあり、平成25年度は958経営体となっている。課題については、高齢化に伴い後継者不足が深刻化している。

質問 飼料用米の取組状況はどうなっているのか。

部長 県内における実績は、226haで1245トン、市内の状況は潜在需要は高いとみるが、課題があることから取組実績はまだない現状だ。

質問 畜産振興の課題は排泄物の処理にあると考えるが、現状はどうか。

部長 糞尿の処理については適切な指導を行い、高度利用の観点やバイオマス事業等も検討する。

人口減少の対策について

質問 平成25年度の出生数と死亡数は。

ており、451人死亡が多い現状である。

質問 過去2年間の婚姻届けの件数は。

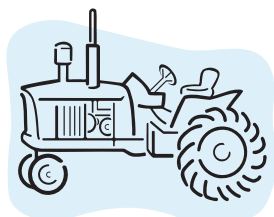
部長 平成24年度509件、平成25年度は597件と若干多い状況である。

質問 これまでに取り組んだ少子化対策は。

部長 主に「子育て支援の充実」に取組んできている。具体的に休日保育、延長保育、放課後児童クラブや子どもの医療費助成事業などである。

質問 将来の労働力確保や経済成長を促すための施策は重要と考えるが、その方向性は。

部長 若者が市内に定住する政策こそ喫緊の課題と考える。





伊藤 一之
(社民党)

「原子力防災、避難計画」について

【質問】「唐津市防災会議」では、どのような内容で議論がされたのか。

【部長】東日本大震災の状況を踏まえて災害対策基本法が改正されました。これにともなう修正をした唐津市地域防災計画(案)を審議した。

【質問】原子力避難計画で、市民の避難先の決定方法、避難先と協議はされたのか。

【部長】県で避難所の収容人数を確認し、行政区ごとにも同一の避難所に避難できるようにした。振り分けは市・町の判断で行った。

「安心・安全のまちづくり」について

【質問】山本の「日出来踏切」は、道幅も狭く「唐津線で一番危険な踏切」とも言われている。こんな危険な箇所を基本的に市としてどうしていくのか。

いる踏切・道路については、地元の要望を受け、道路改良・道路補修等を行っていききたい。

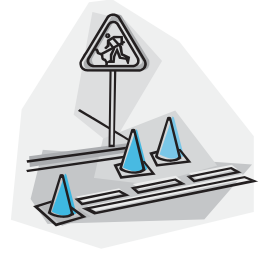
【質問】「唐津線で4か所の工事が行われている。その工事が終われば」と市の回答もあった。その工事の進捗状況は。

【部長】3か所の工事は完了し、1か所については平成28年度に完了をする。

【質問】工事が完了をすれば、この日出来踏切の工事となるのか。

【部長】危険度の高いところから優先的に計画・工事を行い、市民が安全・安心に通行できるよう整備を行う。

【質問】将来財源不足の可能性がある時、基金は使途目的が指定されていて、現状では基金はインフラや施設の整備に活用されてしまう。競艇事業の収益をソフト事業や産業振興に特定した基金として創設したらどうか。これまで競艇事業の収益は一般会計に681億円の膨大な金額を繰り入れ市に貢献した。しかし、市民にはよく理解されていない。



山下 正雄
(志政会)

財政について

【質問】中期財政見通しでは合併特例債を100%活用しても充当する事業で57億円不足するが。

【部長】実質は35億円の不足である。緊急性・費用対効果を勘案し進める。

【質問】財政運営の基本となる財政計画に、この10年間剰余金がなかった、競艇事業の収益を当ててあるが不安定な財源を見込んで大丈夫か。

【部長】競艇事業は経営改善され、収益は大変貴重な財源となった。

【質問】将来財源不足の可能性がある時、基金は使途目的が指定されていて、現状では基金はインフラや施設の整備に活用されてしまう。競艇事業の収益をソフト事業や産業振興に特定した基金として創設したらどうか。これまで競艇事業の収益は一般会計に681億円の膨大な金額を繰り入れ市に貢献した。しかし、市民にはよく理解されていない。

市民に競艇事業の有効性をアピールすべきでは。

【部長】収益金の使途の明確性を検討したい。

【質問】監査委員の定期監査結果について

【質問】各部いっも同じ様な事を指摘されているが。

【部長】平成26年度から指摘事項をデータベース化し、追跡調査を行う予定。

【質問】市民が市政不信に陥るような指摘が多い。人材の不足ではないか。

【部長】全庁的な改善と住民サービスの向上を図る。男女共同参画について

【質問】理念や目標成果は。

【部長】能力と個性を十分に発揮できる社会を。固定的な意識がうすくなった。



定期監査結果報告書



吉村 慎一郎
(清風会)

簡易水道統合整備事業及び未普及地区の事業整備について

【質問】事業の進捗状況は。

【局長】相知地区は平成25年度末で100%完了。鎮西・呼子・肥前地区の事業は平成28年度末の完了予定。

【質問】完了後の既存の水道施設はどうなるのか。

【局長】浄水場は廃止し一部の配水池は利用する。配水管は既存の管を利用したい。

【質問】統合整備により漏水が発生する危険性はないのか。

【局長】減圧弁の設置により水圧を調節する。

【質問】事業完了後の既存施設の利活用及び事故防止の対策は。

【部長】現在のところ具体的な方針を定めていない。また、安全面については対策を講じ事故防止に努めたい。

望があった場合はどのような対応をするのか。

【局長】未普及地区は平成28年度末までに完了する計画である。また浜玉地区も未普及地区だが、住民の方から強い要望があれば調査し計画したい。

【質問】未普及地区の水質検査は行われているのか。

【部長】設置者や唐津市には検査の義務は無い。

【質問】簡易水道供給地区内で小規模水道を組織されている場合も未普及地区に含まれるのか。

【局長】未普及地区として扱い整備を行う。

【質問】未普及地区の水道事業整備完了後の住民への利用促進対策は。

【局長】支所地域整備課や地区駐在員との連携を図りながら、水道の加入促進を進めていきたい。



水道工事



山中 真二
(清風会)

市町村合併から10年目を迎え、これまでとこれからの市政運営について

質問 合併後、総合計画に掲げる「まちづくり7つの基本」に沿って様々な施策を展開されてきた。その成果についての検証と評価は。

部長 分野別に「根幹となるべき施策」を掲げるとともに、合併した地域の特色や資源を活かす「地域独自の施策」の展開を掲げ、各部署で施策展開を図ってきた。

質問 総合計画の策定にあたり地域審議会などの市民の声をどう拾い上げ、理念等に反映させるのか。

部長 「唐津市総合基本計画審議会」に資料として提出し、審議の過程において活用し、庁内の検討委員会で基本理念や施策の基本方針の検討過程で活用していく。

質問 国際局の今後のあり方については。

国際局長 ジャパンコスマテイクセンターを核



九州電力玄海原子力発電所

とし、フランス、アジアとの国際取引を促進し、企業誘致等による関連産業の集積を図り、農林水産業の参入及び環境整備を推進していく。

質問 エネルギー政策と原子力発電所再稼働について

質問 原発の再稼働に対する市の基本的な考え方とスタンスについては。

部長 玄海原発については市民の不安を払しょくされるような安全性の確保が大前提と考えており、一元的に規制・監督権限を有する国が厳格に行うことが必要と考えている。市としては現段階で具体的な対応を考えている訳ではなく、国県等の動きを見守るとともに、市民会の意見も聞きながら、国や事業者からの説明の機会を求めている。



青木 茂
(志政会)

「唐津みなとまち」の再生について

質問 唐津みなとまち再生計画の策定に至る経過は。

部長 平成16年5月に元気再生委員会での検討から始まり、平成17年8月に唐津みなとまちの将来像とみなとまちづくりの基本的な方向性を、地域素案として取りまとめた。その後、平成22年12月都市計画マスタープランの中で、中央地域の重点方針の一つとして策定した。

質問 都市計画マスタープランの位置づけは。

部長 佐賀県の都市計画区域マスタープランや市の総合計画を踏まえ、都市計画法に該当する、唐津市の都市計画に関する基本的な方針として定めている。

質問 廃止が報道されている九州電力唐津火力発電所敷地活用と、唐津みなとまち再生事業の関連付けはどう考えているのか。

部長 唐津火力発電所敷地活用については白紙の状況であり、その利活用についての検討には、相当の時間が必要と考えており、現在の都市計画マスタープランで定めた再生事業については、唐津火力発電所敷地の利活用とは別に、肅々と推進して参りたい。

質問 唐津火力発電所敷地の、将来に向けての取り組みは。

市長 22・5ヘクタールという広大な土地であり、唐津市のまちづくりにとって重要な資源と考えている。



「寄港100周年を祝う会」のロゴ



田中 秀和
(志政会)

唐津ポートレジャー事業の更なる展望について

質問 企業会計を導入し経営改善に務め、9月に3億円余りが一般会計に繰り入れられるが、その収益金の市民PRをどのように考えているか。

部長 これまで売上向上のPRは行ってきたが、収益金の使途（地域貢献事業）についてのPRは不足していた。今年度は使途についての「PRうちわ」を作成して様々なイベントで配布したい。

質問 それだけではPRに繋がらない。地域貢献事業を直接ポートレジャー事業部が行えないのか。

部長 モーターボート競走法の主旨からして可能。**質問** 他場の事例は。

部長 実施はない。

質問 全国一番に直接地域貢献事業を行うべき。デメリットは何なのか。

部長 専門的知識の職員が必要で、事務負担が高む。また、市との二重行政が懸念される。



松浦河畔公園全体図

質問 デメリットを解決して事業部が直接に地域づくりを目的とした貢献事業を行うことで、イメージ戦略に繋がる。一定枠の直接事業ができるよう調査研究をお願いする。

部長 12月までには一定の方向性を示したい。松浦河畔公園の夢のある今後の展望について

質問 河畔公園の整備は、「憩いの空間」・レジャー基地とした展望を考へべき、計画中のポートレジャー場のアミューズメント構想との連携は。

部長 3年後の施設改修により、アミューズメント複合型レジャー施設へと転換を計画している。

部長 提案の河畔公園と一体化した「憩いの空間」レジャー基地としたアミューズメント構想との展望が考えられる。



江里 孝男
(志政会)

森林について

質問 唐津市の森林の現状と課題は。

部長 就業者数が減少し高齢化が進んでいる。担い手の育成と森林整備に取り組み作りが急務である。

質問 「からの木の家づくり」補助金は今後も続けるべきと思うが。

部長 今後材価の動向をみて検討する。

質問 今後の森林施業については、まつら森林組合の役割が大きいと思う。市としての支援は。

部長 職員12名や作業班34名の増強と資質の向上を目指されている。機械の購入、福利厚生、技術向上、就労環境整備に支援を行なっていきたい。

質問 本年5月に8月11日を「山の日」とする法案が可決された。その日を環境学習の日としては。

部長 現在実施している事例を充実させるなど環境学習の日についても検討していきたい。



中川 幸次
(公明党)

道路行政について

質問 原子力防災計画における防災道路の整備計画と進捗状況は。

部長 主要な避難経路として、県道の「唐津呼子線」「鎮西唐津線」「肥前呼子線」の3本の道路を位置付けている。

これまで、地元から要望がなされた箇所を唐津土木事務所と協議し進めている。

質問 3本の県道に接続している「県道今村枝去木線」や「県道加倉飯屋港線」も防災道路として位置付け、一体的な整備をすべきではないか。

部長 県は主要な避難経路として位置付けはしていないが、地元からの要望を受けて、協議し、整備をしている。

若者や女性が暮らしやすいまちづくりについて

質問 安心して出産ができる体制作りのために、医師や助産師の確保を。

部長 新しい唐津赤十字病院開設へ向け、県や医師会などと連携し、佐賀大学をはじめ各大学へ医師派遣依頼を行い、増員に努める。助産師も今後増員を図ること。



石崎 俊治
(志政会)

福祉について

質問 介護施設等の適切な運営についての指導は。

部長 利用者などからの苦情などは高齢者支援課の窓口相談などで話を聞いている。適切な運営指導については介護相談員による施設訪問相談、市も3年に1回施設に出向き実地指導を行っている。

質問 介護職員の処遇改善への取り組みは。

部長 平成21年度に介護職員の人材確保と処遇改善策として、報酬を3%引き上げ、さらに都道府県が設置した基金により、平成24年度から「介護職員処遇改善加算」として介護報酬に含まれ支払われている。

質問 現在整備中の障害者支援の拠点施設の新たな機能は。

部長 現施設の機能に加え、視聴覚障害支援センター、ボランティア団体活動スペース、障害者団体活動スペース、サロンスペース等を備えており、

障害者支援課及び相談支援センター等も移転配置し、障害者施策の充実を図る予定です。

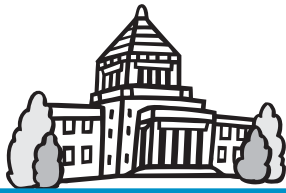
質問 施設整備の完了時期、又開設時期は。

部長 建物本体工事は本年7月には完了予定。その後、駐車場などの外部工事があるので、全ての工事が完了するのは今年度中と考えているので、開設は平成27年4月1日を予定している。

質問 より多くの利用者に喜ばれるような施設の運営について。

部長 施設開設後も、利用者の意見を聞き施設の充実を図り、利用者の方に喜んで頂ける様な施設になるよう新たな気持ちで取り組んでいきたい。





市議会では、意見書として、権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

電源立地地域対策交付金等に係る交付地域拡大に関する意見書

本市は、平成17年、平成18年に合併し新しく誕生したが、その制度の対象地域は、合併前の地域のままであり不均衡な状態となっている。

対象地域の拡大については、平成18年にも唐津市議会として是正を求め、意見書を提出してきたところであるが、いまだ改善されず、合併後10年が経過し、全市が一体となった均衡ある発展を目指す本市にとっては、対象地域が全地域となることを強く要望するものである。

中小企業の事業環境の改善を求める意見書

- 1 中小企業の“健全な”賃上げ、収益性・生産性の向上に結び付くよう、経営基盤の強化策及び資金繰り安定化策を図ること。
- 2 「小規模企業振興基本法案」を軸に国・地方公共団体・事業者の各責務の下で円滑な連携と実効性が高まる制度設計を図ること。
- 3 中小企業・小規模事業者においても重要な非正規労働者の正規雇用化を促すよう、キャリアアップ助成金などの正規雇用化策を更に周知するなど、従業員の処遇改善を図ること。

若者雇用対策の拡充と安定した雇用を求める意見書

経済の好循環が始まる中、新規学卒者の内定状況も好転し、賃金上昇に取り組む企業が出てきているが、唐津市においては、有効求人倍率が佐賀県の有効求人倍率を上回るなど景気の回復の兆しが見られるものの、正規雇用の拡大や賃金の引き上げについては、まだ厳しい状況である。

改めて、若者雇用対策を総合的かつ体系的に推進するための仕組みを構築するとともに安定した雇用の実現のため、対策を講じるよう要望する。

その他の意見書

- ・ 参議院選挙制度改革に対する都道府県単位の制度を堅持することを求める意見書
- ・ 義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- ・ TPP (環太平洋連携協定) 交渉に国会決議を遵守する態度を求める意見書

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで確認できます。

市民の皆さんへの情報発信の取組についてご紹介

市議会では、より市民の皆様身近で開かれた議会をめざしております。そのための重要である情報発信を議会運営委員会、議会制度検討委員会、議会報編集委員会により、「議会インターネット中継」の配信と「唐津市議会だより」「議会ホームページ」の充実について協議を重ね取り組んでおります。

【議会インターネット中継】

平成24年6月定例会から配信をスタートしました。本会議の審議をはじめ予算等・決算特別委員会の状況も配信しており、生中継のほか、過去の議会中継も会議名・議員名検索によりご覧いただけます。

【唐津市議会だより】

表・裏面紙をカラー、中を2色刷りにするなど工夫を重ねてきましたが、更に読みやすくするため、一般質問コーナーでは平成26年2月号より文字の大きさを変えず段組みを改善しました。この事により、1ページ3名の記事にまとめ読みやすくなったのではと感じております。また、平成26年5月号から各種学校、観光、文化、福祉、医療、銀行、交通機関などへも配布しております。

【唐津市議会ホームページ】

議会ホームページは唐津市のポータルサイトからご覧いただけます。内容としてはインターネット中継のほか、会議録、唐津市議会だより、議員・会派・委員会名簿などに留まっています。

今回、議会の新着情報や意見箱、議会用語集欄を取り入れるほか、各種名簿の内容充実を図り、また、委員会における協議内容や行政視察の報告書も掲載することで協議しています。

議会だよりのバックナンバーの掲載など一部先行していますが、本格的リニューアルは市のホームページリニューアルと合わせ来年4月からの予定です。

今回は、議会制度の改革としてその一部をご紹介しました。このほか議会の基本条例、特別委員会の設置や政務活動費の用途をはじめ毎年多くの項目を提案し協議を行っております。

議員発意のみならず市民のみなさんからのご要望にもお応え出来ればと考えております。ご意見等ございましたら議会報編集委員会へご一報頂ければ幸いです。



委員会の現地調査

唐津市議会には4つの常任委員会が設置されています。

付託された議案等の中から、現地確認が必要な箇所を選定し調査しています。



市道霧彦山2号線
(北波多大杉)

都市整備委員会



次世代自動車充電インフラ整備
促進事業
(北波多 徳須恵)

総務教育委員会



離島ごみ処理施設整備事業
(肥前町向島)

市民厚生委員会



「風のふるとと館」

(厳木町牧瀬)

産業経済委員会

議会交際費を公表します

- ・唐津市情報公開条例に基づき、議会交際費の支出状況をお知らせします。
- ・議会交際費とは、市政の円滑な推進を図るため、議会が行う外部との交際に要する経費です。

平成25年度分 議会交際費支出状況

支出種別	件数(件)	金額(円)
弔慰	39	267,000
見舞	0	0
御祝	2	20,000
賛助	8	36,300
接遇	2	26,600
会費	74	342,000
その他	1	5,600
合計	126	697,500

【用語解説】

弔慰：市政関係者及びその親族に対する香典、供花などに係る経費
見舞：市政関係者の病気、災害などの見舞に係る経費
御祝：記念行事、式典、祝賀会などに際しての祝いに係る経費
賛助：各種大会、新聞などの特別企画等で公益性のあるものへの賛助
接遇：来客、市政関係者との懇談ののり土産、記念品などに係る経費
会費：円滑な市政、議会運営に資する会議、会合、研修会への参加に係る経費
その他：上記の区分に掲げるもの以外に係る経費

問い合わせ 議会事務局 (☎ 72-9162)

唐津市議会事務局内「唐津市議会だより」編集委員会
☎ 72-9162 FAX 75-1515
(☎ 847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)

編集後記

「議会だより」編集作業をしていますと、限られた紙面の中での伝える事の難しさを痛感させられます。市民の皆様を読みやすく、解りやすくをモットーに編集作業に従事しております。「市報からつ」と一緒に配布されておりますが、何とか手にしてもらいたいと思ひ悪戦苦闘しております。また、前号より各種公共施設を始め、福祉、医療、銀行、交通機関などにも配布を始めております。ちょっとした待ち時間にでも手にして頂ければ幸いです。今後とも市民の皆様への情報発信ツールの一つであることを自覚し発刊してまいりますので、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- ・委員長 白水敬一
- ・副委員長 水上勝義
- ・編集長 大西康之
- ・委員 田中秀和
- ・委員 笹井成憲
- ・委員 江里孝男
- ・委員 伊藤一之樹
- ・委員 富田幸樹
- ・委員 吉村慎一郎
- ・委員 井上祐輔